

御前山ビオトープ通信

平成25年10月7日

第43号

発行：御前山ダム環境センター
 編集：NPO「美しい田園21」清野
 メール：denen21@hb.tp1.jp
 ホームページ：<http://w01.tp1.jp/~a071771011/>



【案内図】



目次

- 1 「田んぼの学校」稲刈り
- 2 第3回ビオトープ育成活動
- 3 ダム公園管理所の管理委託

1 「田んぼの学校」稲刈り

今年は猛暑に干ばつ、9月16日（月）には台風18号も来ましたが、地元集落の皆さんがしっかりと管理していただいたおかげで稲の生育は順調、収穫の季節を迎えました。

9月20日（金）は朝から秋晴れの爽やかな天気となり、9時頃御前山小学校5年生約30名が校長先生、担任の引率により、バスと徒歩で到着しました。

当日は桜山の皆さんが朝早くからオダなどの準備をして待っていました。

桜山地区の国安区長から歓迎の挨拶と稲刈りの説明を受け、早速稲刈り開始です。田んぼでは、婦人会の皆さんの手とり足とりの丁寧な指導を受け1時間ほどで刈り取り、結束、オダ掛けと終了しました。

休憩時には長山会長から稲や植物に関する楽しい講義がありました。

最後にオダ掛けの前に全員集合して記念写真を撮り、元気に帰途につきました。ご苦労さまでした。

子供たちの稲刈り



作業終了！！



2 第3回御前山ビオトープ育成活動と脱穀

台風20号が関東地方に接近し天気予報は大荒れ模様でしたが、雨天決行としました。当日10月2日（水）は朝から土砂降りでしたが、県北方面は小康状態。地元集落の皆さんが朝早くかテント張

りや脱穀機の配置など準備を進めました。

9時半、子供たちが長くつに雨合羽を着て到着した頃は小雨になってきました。本降りになる前に、挨拶・説明の後、早速脱穀作業に取り掛かりました。地元桧山集落の皆さんの万全の準備と指導で作業は順調に進み、1時間ほどで終了しました。休憩時間には、長山会長から環境に関するワンポイント講義がありました。

今回は脱穀作業と併行して、国営事業所が中心となり取水口の改修工事を、NPO関係者は林間と湿地の草抜き作業を行いました。林間のフタバアオイは少し株数が減少しましたが、イヌショウマ(写真)は元気。湿地のタコノアシ、アギナシ、水路のナガエミクリなども他の野草との競合に負けず、しっかりと根付いていました。

初めての参加者も多かったので、作業の合間にビ



イヌショウマの花

オトープの全体を廻って説明案内を行いました。作業の最中に雨もあがってきて、少し蒸し暑いくらいになってきました。昼食は地元の婦人の皆さんが用意してくれたビオトープ米の

「おこわおにぎり」と汁物がふるまわれました。

今年は「花王・みんなの森づくり補助金」を活用しており、花王と都市緑化機構から2名の方に活動状況の視察をしていただきました。



雨の中、テント準備



草抜き作業

3 ダム公園管理所の管理委託

ビオトープ育成作業が終了した後に、ダム公園管理について区長を始め地元の皆さんと現地視察と打ち合わせを行いました。ダム公園や管理所は計画設計段階から御前山ダム環境センターなど地元による活用や管理を前提として検討をしており、今回概ね施設が完成したことから今後の具体的な取り扱いを考えるものです。常陸大宮市からの委託により、トイレや管理所周辺の清掃は婦人グループで定期的に行い、管理所内部の展示、整備などは御前山ダム環境センターが中心に検討することにしました。ダム公園広場は地元のイベントなどで幅広い活用が考えられます。また、管理所は「御前山ダム環境センター」の活動拠点とし、パネルや看板など内外を今後順次整備していく予定です。トイレ、研修室、倉庫などが完備し、子供たちの「田んぼの学校」など雨天の場合も安心して活用でき、遠くから来ていただいたボランティアの皆さんの休憩や着替えなどにも利用できます。

この数年間で植栽したダム直下や湖対岸のヤマサクラも皆で視察しました。順調に生育しており、花見などが楽しみです。



完成したダム公園管理所